

令和8年度 探究を支えるグループファシリテート力協働開発プログラム 実施要項

1 目 的

独立行政法人教職員支援機構（以下「当機構」という。）では、「令和の日本型学校教育」を担う新たな教職員の学びの姿の実現に向けて、参加者の気付きを醸成し、探究を後押しすることを目指した探究型研修を実施している。VUCAと言われる変化の激しい時代を生きる子供たちには、自ら問いを立て、課題を探究し、他者と協働しながら人生を切り拓いていく力が求められる。そのため、教職員には、子供を主語とした探究的な学びを支援し、その力を引き出すことが求められている。

こうした学びを実現するためには、教職員自身が学び手として探究的な学びを経験し、対話と内省を通して自らの教育実践やマネジメント、教育観を振り返る中で、「探究するとはどういうことか」「探究的な学びをつくるとはどういうことか」「探究的な組織風土はどのように醸成されるか」などの本質的な問いに向き合うことが重要であり、また、参加者が十分な時間をかけて実践を語り、相互に傾聴し合うことを通して、自己の在り方への気付きを得ることを重視している。

当機構では、探究型研修において、各グループに原則1名のファシリテーター（以下「グループファシリテーター」という。）を配置し、安心・安全な場づくりや丁寧な傾聴、見取りに基づく気付きの共有を通して学び合いを支えることに努めている。対話と内省を中心とする探究型研修において、グループファシリテーターの果たす役割が高まっており、教職員の協働的な学びや組織的な学びを支える観点からも、こうしたファシリテートの在り方は重要な要素となっている。

本プログラムでは、これらの役割を担うグループファシリテーターに求められる在り方について、対話や内省を重ねながら新たな気付きや視点を得るとともに、実践的な演習や振り返りを通して、探究のプロセスを支えるファシリテート力の向上を図ることを目的とする。

2 主 催

独立行政法人教職員支援機構

3 テーマ・期間・実施方法・標準定員

プログラム	期間	実施方法	標準定員
＜事前説明会＞ ・プログラム概要の説明 ・事前課題等の説明	令和８年６月２５日（木）	オンライン	50 名
＜基礎編＞ グループファシリテートの在り方について探究するための基本的事項等を共有するプログラム	令和８年８月３日(月) ～８月４日（火）	対面	
＜実践編＞ 探究型中央研修（探究的な学び １ 年コース）のファシリテーターとして実践を通して探究するプログラム	令和８年８月５日(水) ～８月７日（金）	対面	
	令和８年１１月２０日(金)	オンライン	
	令和９年２月２日（火）		

※1 本研修はインターバル開催であり、参加者は全日程参加を前提とする。

※2 事前説明会（オンライン・60分程度を予定）では、研修の主旨および事前課題等の説明と、質疑応答・簡単な協議の時間を設ける予定である。当日参加できない参加者は録画を視聴する。

4 実施方法・会場等 ※実施方法は「3 テーマ・期間・実施方法・標準定員」を参照

(1) 対面

会 場：独立行政法人教職員支援機構

〒305-0802 茨城県つくば市立原 3 番地

(2) オンライン

Web 会議システムを用いた同時双方向通信によるリアルタイム・オンライン研修

（「Zoom ミーティング」（（株）Zoom コミュニケーションズ）を使用）

配信元：独立行政法人教職員支援機構

〒305-0802 茨城県つくば市立原 3 番地

5 参加者

(1) 参加資格

以下の者であって、今後、教育実践において各地域の中核としての活躍が期待される者

ア 都道府県・指定都市・中核市教育委員会及び教育センターの研修担当主事等、教職大学院関係者

イ 小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の教諭、主幹教諭、指導教諭、研修主任等

(2) 推薦手続・推薦期限

推薦期限は、令和 8 年 6 月 5 日(金)とする。

推薦する機関においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式 1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(3) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、当機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整することがある。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

6 プログラム内容・方法

プログラム内容については、別紙 1、2 のとおりとする。

本プログラムは、探究的な学びが持続的に展開できるよう、グループファシリテーターを含めた参加者同士の学び合いを支えるグループファシリテートの在り方を実践もあわせて考える機会を提供するものである。

参加者は、探究型研修にグループファシリテーターとして参加し、グループファシリテートの在り方を協働的に考えていくこととなる。

7 その他

- (1) 本研修では、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。
- (2) 実施方法が対面の場合は、原則として当機構の宿泊施設を利用するものとする。
- (3) 当機構は、スムーズで効果的な演習の展開、ファイル交換等の効率化、資料等のペーパーレス化、ICT 機器の活用能力の向上等を同時に実現することを目的とし、BYOD (Bring Your Own Device) を導入しているため、実施方法が対面の場合は、参加者が使い慣れたパソコン等を持参すること。
- (4) 実施方法がオンラインの場合は、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」((株) Zoom コミュニケーションズ) を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールや安定したインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、1 人 1 台準備すること。
- (5) 実施方法がオンラインの場合は、参加者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な参加環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。
- (6) 本研修の参加に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合は、事前に当機構に相談すること。